
IIW 2022 年次大会(東京大会) International Conference on Welding
and Joining への投稿について

2021 年 11 月 10 日

〇〇 〇〇 様 会員番号 : 〇〇〇〇〇〇〇

拝啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は、当学会の活動にご尽力、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、IIW(国際溶接学会)の2022年次大会(東京大会)が2022年7月17日
(日)~22日(金)の期間にグランドニッコー東京台場で開催されます。
(開催方式は12月のIIW理事会で決定)

本会議は溶接・接合に関する世界一の規模を誇る国際会議であり、溶接界
にとっては非常に大きなイベントとなります。この機会を溶接界、ひいて
は日本の産業界発展のきっかけとするべく従来にない以下のような大胆
で斬新なコンセプトで産学官幅広い方々に参加頂ける有意義な国際会議を
計画いたします。

- ① プログラムを改革し年次大会における国際会議のプレゼンス向上を図る。
- ② 国際会議のテーマを日本の経済政策に沿った未来を見据えたテーマとする。
- ③ 学術界のみならず経済界にも魅力的な国際会議とする。
- ④ 国際ウエルディングショーを同時期開催にして相乗効果を図る。具体的
にはウエルディングショーに特設会場を設け国際会議とコラボ (IIW 後援)
する。(他のウエルディングショーの展示とは一線を画したものとなる)
- ⑥ イベントを通じ溶接・接合技術の重要性を産学官で再認識し溶接界がオー
ルジャパンで共通の目標達成に向けイノベーションに取り組む風土を醸成する。

IIW 年次大会・国際会議は18の常置の専門委員会と溶接・接合国際会議
(International Conference on Welding and Joining)で構成されています。
溶接・接合国際会議の企画については開催国の経済を反映することが条件とな
りますが開催国の自主性に任されています。日本開催にあたり開催コンセ
プトを実現するテーマを協議した結果、以下のテーマを選定しました。
<カーボンニュートラル実現と持続可能な発展を支える溶接・接合技術の革新>
Innovative Welding and Joining Technologies to achieve Carbon Neutrality
and promote Sustainable Development
また、今回のIIW年次大会・国際会議では、日本からの提案として国際会議を
会期の前半に移行し大会全体を盛り上げる計画としております。

この度、溶接・接合国際会議 (International Conference on Welding and
Joining) の CALL FOR PAPERS のサイトが出来上がり Abstract Submission も
受け入れ可能となりました。

日本開催のIIW年次大会を大いに盛り上げたく下記サイトをご案内いたしますの
で論文の提出をお願いします。

IIW 2022 年次大会ホームページ
<https://www.iiw2022.com/index.html>

International Conference on Welding and Joining
<https://www.iiw2022.com/cfp.html>

メールマガジンを希望されている方全員にお送りしました。
不要な連絡になってしまった方にはお詫び申し上げます。

溶接学会 事務局